

令和元年度 神戸大学大学院経営学研究科修了生の皆様へ

修了生の皆さん、ご修了おめでとうございます。新型コロナウイルス感染症防止の観点から、一堂に会しての学位授与式や謝恩会の開催は叶いませんでしたが、経営学研究科長として皆さんのご修了を心よりお祝い申し上げます。

さて、ご承知の通り、神戸大学経営学研究科は日本で最初に設立された老舗の経営学研究科です。日夜研究に励まれた皆さんには、経営学研究科で開講されている各種の講義や演習での活動を通じ、最高水準の教育を提供できたと自負しています。

博士の学位を取得された皆さんには、最高の学位である博士号を授与され、日夜、研究に励まれたご苦労が報われ、ほっとされていることと存じます。本当におめでとうございます。博士の学位は英語では **Doctor of Philosophy (Ph.D.)** と称されていることはご承知の通りです。この語は直訳すると「哲学博士」ですが、この意味を考えてみられたことはおありでしょうか？

経営学に限らず、どのような領域であっても博士号は **Ph.D.** と呼ばれ、「哲学博士」であることは覚えておいていいかもしれません。特段、文学部で哲学を学んだわけではないのに、自然科学でも人文社会科学でも博士学位は **Ph.D.** なのです。

実は、自分の修めた学問についてひとかどの「哲学」を有していること、すなわち、単にとおり一遍の表層的な知識の説明にとどまることなく、とことん理性で突き詰めて考え、その理屈をきっちり万人に説明できる、というのが博士学位を授与されることの最も本来的な意味であることを、このことは示唆しています。

経営学に当てはめていえば、博士号を授与された皆さんには、経営現象をただ 1 つの単独のコンテンツとして理解するだけではなく、なぜそういう現象が生じたのかを紐解き、独創的に、かつ万人への説得力をもってロジカルに説明ができなければなりません。本日、博士の学位を授与された皆さんは、それを十分になしえる資質を有していることが厳しい学位論文審査を経て認められたわけですから、今後は自信をもって教育研究の道に邁進して頂ければと願っています。

また、博士号のほか、博士課程前期課程を修了され修士号を授与された皆さんや、企業等にお勤めになられながら専門職学位課程を修了され **MBA** を授与された皆さんもいらっしゃることでしょう。神戸大学大学院経営学研究科で学修した知見は、たとえ博士課程前期課程であっても、また専門職学位課程であっても、経営上の単なる断片的な知識としてではなく、その現象をとらえるうえでの深い洞察力や構想力を身に着けられるように工夫されているはずです。各位が執筆された学位論文は、経営実務にも、長期的な視点で大いに活かすことができる知見であるはずです。したがって、修士号や **MBA** を授与された皆さんも、神戸大学経営学研究科に在籍され無事に学位が授与されたことに、大いなる誇りを持って今後のキャリアを歩んでいっていただきたいと思っています。

以上、甚だ簡単ですが、皆さんの今後のますますのご発展を祈念いたしまして、修了にあたっての研究科長としての臆の言葉といたします。本日は誠におめでとうございます！

令和 2 年 3 月 24 日

神戸大学大学院経営学研究科長 **上林 憲雄**